

補正予算等の審議内容

令和4年度一般会計補正予算(第3号・第4号)の概要

補正額

(第3号) 2億3,638万円

(第4号) 6億5,326万円

補正後の予算額

522億5,217万円

現在の物価高騰や新型コロナウイルスの影響に対応するために、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しています。またデジタル田園都市国家構想推進交付金は、道路冠水観測システム設置、河川水位観測システムの更新、健康アプリ導入や電子申請導入など、デジタルの活用に充てています。

DX推進計画推進費 追加・増 2,958万円

いつでも誰でも利用できる窓口の実現に向け、外国人市民向けチャットボットシステムの構築費用と、電子申請業務を導入するための委託料



主な質疑

- Q** チャットボットシステムの導入内容について伺う。
- A** 外国人市民向けに5言語を用意し、日常生活において探したい必要な情報にたどりつけるように対応するシステムです。

生涯お達人市民推進事業費 追加 2,050万円

健康づくりに取り組む市民の増加を図るため、スマートフォンなどを活用した健康アプリの作製及び運用するための委託料



主な質疑

- Q** 数年前より紙媒体で取り組んでいる健康マイレージ事業をどのように評価しているのか。
- A** 紙媒体による健康マイレージ事業は、高齢者の参加者が多く、若い方の参加が少ないこと、毎回、同じ方の参加が多いことなどが課題だと認識しています。

地域経済活動活性化事業費 追加 5億3,475万円

コロナ禍において市民や市内事業者を支援するため、市内取扱店舗で使用可能なプレミアム付き商品券を発行する費用



主な質疑

- Q** 販売対象を世帯でなく、個人とする考えはなかったのか。
- A** 県内の市町を参考に、世帯単位の販売に決定しました。